

令和7年度 霧島市地域包括支援センター事業実績

◎事業内容

- 1 包括的支援事業
 - (1) 総合相談支援業務
 - (2) 権利擁護業務
 - (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - (4) 介護予防ケアマネジメント業務および指定介護予防支援業務
- 2 包括的支援事業(社会保障充実分)
 - (1) 認知症総合支援事業
 - (2) 地域ケア会議推進事業
- 3 任意事業
 - (1) 家族介護者支援事業
- 4 一般介護予防事業
 - (1) きりしま元気一番講座
- 5 その他
 - (1) 霧島市出前講座等

◎事業実績報告

- 1 包括的支援事業
 - (1) 総合相談支援業務
 - ①利用者基本情報(人数)

	高齢者および包括で相談実績のある第2号被保険者(R8. 3月現在)
男性	16,440 人
女性	20,659 人
合計	37,099 人

②新規相談実績(相談方法別)

相談方法	相談延件数	夜間相談延件数 (内訳)	相談実人員数
電話	1,746 件	77 件	1,535 人
訪問	378 件	2 件	375 人
来所	527 件	3 件	307 人
その他	105 件	8 件	55 人
不明	2 件		1 人
合 計	2,758 件	90 件	2,273 人

③新規相談実績(相談関係別)

相談関係	相談延件数	夜間相談延件数(内訳)	相談実人員数
本人	787 件	20 件	928 人
家族・親族	968 件	22 件	688 人
関係委員	2 件		2 人
近隣住民	36 件	6 件	24 人
介護支援専門員	144 件	9 件	107 人
介護保険事業所職員	65 件	7 件	48 人
民生委員	141 件	7 件	88 人
行政関係者	175 件	5 件	102 人
関係機関	97 件	1 件	54 人
地域資源	10 件	1 件	5 人
医療機関	239 件	5 件	172 人
保健所			
警察署	46 件	3 件	32 人
消防署	2 件		2 人
不明	3 件	1 件	3 人
その他	43 件	3 件	18 人
合 計	2,758 件	90 件	2,273 人

④新規相談実績(相談内容別)※実人員数は、上位集計

相談内容	相談延件数	夜間相談延件数(内訳)	相談実人員数
介護に関する相談	332 件	8 件	327 人
高齢者サービス(民間含む)に関する相談	330 件	9 件	294 人
施設入所・対応に関する相談	164 件	5 件	138 人
医療・健康に関する相談	159 件	5 件	129 人
介護保険・総合事業に関する相談	819 件	31 件	657 人
一般介護予防事業等に関する相談	91 件		83 人
苦情に関する相談	9 件		4 人
権利擁護に関する相談	102 件	2 件	79 人
障がい者支援に関する相談	32 件	1 件	17 人
高齢者実態把握依頼	145 件	3 件	119 人
認知症に関する相談	153 件	7 件	90 人
ケアマネ・事業所支援	40 件	4 件	32 人
市からの非該当対応依頼	29 件		24 人
その他	353 件	15 件	280 人
合 計	2,758 件	30 件	2,273 人

⑤新規相談実績(相談対応別)※実人員数は、上位集計

対応内容	対応延件数	夜間対応延件数(内訳)	対応実人員数
助言・情報提供	1,176 件	38 件	1,163 人
サービス申請・代行・紹介	165 件	1 件	125 人
支援調整	337 件	14 件	268 人
実態把握	502 件	17 件	298 人
地域ケア会議			
虐待防止のための対応	6 件		5 人
認知症初期集中支援チーム紹介	8 件	1 件	4 人
障がい者支援事業所等との連携	4 件		
入退院コーディネート	12 件		7 人
医療機関との連携(入退院コーディネート以外)	92 件	2 件	50 人
成年後見センターとの連携	3 件		1 人
警察との連携	24 件		15 人
消費生活センターとの連携	1 件		1 人
その他の関係機関との連携	179 件	5 件	85 人
生活保護申請	3 件		
日常生活自立支援事業契約			
成年後見制度申立	1 件		1 人
その他	190 件	8 件	160 人
合 計	2,703 件	86 件	2,183 人

⑥継続相談実績(相談対応別)※実人員数は、上位集計

対応内容	対応延件数	夜間対応延件数(内訳)	対応実人員数
助言・情報提供	3,066 件	119 件	1,646 人
サービス申請・代行・紹介	643 件	15 件	273 人
支援調整	1,208 件	67 件	385 人
実態把握	1,332 件	73 件	382 人
地域ケア会議	2 件		
虐待防止のための対応	23 件	1 件	4 人
認知症初期集中支援チームへの紹介	5 件		
障がい者支援事業所等との連携	7 件		1 人
入退院コーディネート	33 件	1 件	5 人
医療機関との連携(入退院コーディネート以外)	340 件	17 件	65 人
成年後見センターとの連携	9 件	1 件	2 人
警察との連携	65 件	7 件	12 人
消費生活センターとの連携	1 件		
その他の関係機関との連携	550 件	16 件	113 人
生活保護申請	1 件		
日常生活自立支援事業契約	8 件		
成年後見制度申立	10 件		2 人
その他	826 件	59 件	263 人
合 計	8,129 件	376 件	3,155 人

※②:新規相談延件数+⑥:継続相談延件数=総合相談延件数 10,887 件

(2)権利擁護業務

①高齢者虐待対応件数

地区	継続	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計(件)
国分	3	3	3	1	2		4		3		1	3		23
溝辺					1	1								2
横川														
牧園														
霧島			2		1									3
隼人		1	1	4	3	1			1	2	1		2	16
福山		1												1
計(件)	3	5	6	5	7	2	4		4	2	2	3	2	45

・相談・通報者(相談・通報のあった 42 件の内訳) ※前年度継続分含まない

警察(15 件)、ケアマネジャー(13 件)、関係機関(3 件)、近隣住民・知人(3 件)

介護保険サービス事業所(2 件)、親族(1 件)、民生委員(1 件)

医療機関(1 件)、本人(1 件)、包括把握(1 件)、行政(1 件)

・虐待の種類(重複あり)虐待の事実があった 12 件(施設虐待は除く)について

身体的虐待 6 件 心理的虐待 5 件 経済的虐待 3 件

介護・世話の放棄・放任 3 件 性的虐待 0 件

・被虐待者の状況(虐待の事実のあった 12 件の内訳)

平均年齢: 83.1 歳

性 別: 男性 5 人、女性 7 人

・虐待者の状況(虐待の事実のあった 12 件の内訳)

性 別: 男性 6 人、女性 8 人

続 柄: 息子(4)、娘(7)、妻(1)、甥(1)、知人(1)

世帯の状況: 14 人中、7 人が同居

仕事の有無: 60 歳未満、且つ無職・無収入 3 人

分離した件数: 8 件(方法:入所 4 件、入院 2 件、緊急ショートステイ事業 1 件、ショートステイ 0 件、
小規模宿泊 1 件))

※緊急ショートステイ事業は、霧島市独自の取り組みであり、上記虐待以外での利用者は 5 人。

②成年後見制度

相談の後、申し立て支援を行った件数 4 件

③権利擁護研修

開催日	内容	対象者
6 月 17 日	身寄り問題に関する講師	鹿屋市北部地区介護支援専門員連絡会
6 月 26 日		国立病院機構 別府医療センター視察研修
7 月 3 日		行政書士会
12 月 2 日		霧島市居住支援協議会
1 月 19 日	権利擁護研修会	介護保険サービス事業所、基幹相談支援センター、長寿介護課
1 月 23 日		

(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①霧島市ケアマネ会「あしたば」

開催日	内容	講師	会場	参加者
7 月 28 日	身寄りがなくても安心して暮らせるためのガイドラインについて	ガイドライン作業部会 加治屋 明日香	国分総合福祉センター3階 大会議室	57 名
9 月 12 日	身寄りのない方を支えた事例	大和葬儀社 前田翔太 氏 霧島市生活福祉課 濱谷秀和 氏	松恵苑	52 名

②特定事業所連絡会「みやま会」

開催日	内容	会場	参加者
5月2日	「まち歩き」と「支え合いマップ」でつくるケアプランづくり ～利用者の「らしさ」を支える～ ケアタウン総合研究所（株）けあけあ 高室 成幸氏	国分公民館 大研修室・大会議室	82名
9月22日	事例検討会(事例研究) 霧島リハウオーク絆 山根 CM		42名
12月9日	子どもたちとのかかわりで見えてきたこと ～学校に行きづらい子どもたちの支援を通して～ 通所支援事業所 まっぷ 学校に行きづらい子どもたちへの支援担当 徳石 誠 氏		73名
2月2日	事例検討会(事例研究) 希望の里 吉永主 CM		48名

③独立居宅介護支援事業所連絡会「あすなろ会」

開催日	内容	会場	参加者
4月17日	年間計画と新規メンバーについて	国分総合福祉センター3階 大会議室	5名
5月15日	つるかめ商会 お弁当試食会 事業紹介		9名
6月19日	成年後見制度		12名
7月17日	精神科訪問看護について 訪問看護リカバリー		10名
9月18日	事例検討会 居宅まごのて 赤井田CM		9名
10月13日	BCPについて 机上訓練	隼人商工会館	6名
11月20日	がんについて	国分総合福祉センター3階 大会議室	8名
12月18日	グリーフケアについて		3名
1月15日	シャドーワークについて	包括本所会議室	8名
2月26日	ご縁や事業所紹介 ハラスメントについて	国分総合福祉センター3階 大会議室	9名
3月26日	来年度の年間計画について		8名

④霧島市介護支援専門員研修会

開催日	内容	講師	会場	参加者数
11月13日	年齢を重ねても“誰か”に必要とされる 地域づくり ～最期まで“本人らしく”生ききる為に	霧島記念病院 井上勇人 氏	国分ハウジングホール	84名
3月6日	地域コミュニティとのつながりから描くこれからの未来～一人ひとりの生きがいやモチベーション・可能性やホンネ～	合同会社やがて立元悠樹氏 居宅介護支援事業所牧園内村房子氏 鹿児島県医療生活協同組合横道郁代氏 スナックバーちづる上瀧一彦氏		82名

(4)介護予防ケアマネジメント業務および指定介護予防支援業務

①介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

区分	介護予防支援 (予防給付)			介護予防ケアマネジメント(総合事業)								総数(件)
	ケアマネジメントA (ケアマネジメントB、C 併用者含む)						ケアマネジメントB			ケアマネジメントC		
	センター		事業所 委託	センター		事業 所委 託	センター		事業 所委 託	センター		
	本所	支所		本所	支所		本所	支所		本所	支所	
4月	201	275	402	77	131	84	26	13	0	6	0	1,215
5月	201	260	393	77	119	88	30	13	0	2	2	1,185
6月	207	264	395	74	126	88	31	14	0	1	0	1,200
7月	202	259	395	74	131	89	33	11	0	3	1	1,198
8月	204	261	394	74	130	82	33	8	1	3	0	1,190
9月	204	258	393	70	133	89	31	8	1	1	0	1,188
10月	204	264	389	71	121	89	32	9	1	1	1	1,182
11月	194	272	388	72	117	93	30	10	0	3	1	1,180
12月	195	277	393	77	119	90	27	9	0	1	0	1,188
1月	195	281	390	71	117	88	27	8	0	0	0	1,177
2月	193	277	403	71	115	85	24	9	0	4	0	1,181
3月	198	278	412	75	111	81	21	8	0	2	0	1,186
計(件)	2,398	3,226	4,747	883	1,470	1,046	345	120	3	27	5	14,270
	5,624			2,353			465			32		内包括:8,474

②非該当者調査

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
国分	3	2	3			2	1	2	3		1	1	18
溝辺		1											1
横川			1		1			1			1		4
牧園		1							1				2
霧島	2					1	1	1	2	1			8
隼人	1	2		3		1	2	5	3		2	2	21
福山								1			1		2
住所地特例										1			1
計(人)	6	6	4	3	1	4	4	10	9	2	5	3	57

2 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 認知症総合支援事業

●認知症サポーター養成講座

対象者	開催回数	受講者数
一般市民	7 回	245 名
小学生	9 回	596 名
中学生	3 回	185 名

●認知症予防講話(さりしま元気一番講座を除く)

対象者	開催回数	受講者数
一般市民	2 回	55 名

●チームオレンジ設置数: 3 箇所

●私のアルバム書き方講座: 2 回 29 冊

●認知症カフェ事業: 専門型 1 箇所、地域型 5 箇所

●認知症初期集中支援事業

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計(件)
相談件数	1	8	5	5	1	5	4	10	34	18	10	16	117
検討件数	4	4	4	5	3	4	2	3	0	3	4	4	40

※12 月:長寿健診結果への対応に伴い増加。

(2) 地域ケア会議推進事業

①個別地域ケア会議

地区	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計 (回)
国分	7	3	8	5	3		3	4	2	4	2	3	44
溝辺	1	1			1	2	7	3			2	1	18
横川			1	1		1		1			1		5
牧園								1					1
霧島		1											1
隼人		1		3				2	1	3	5	1	16
福山	1	3	1	1						1			7
計 (回)	9	9	10	10	4	3	10	11	3	8	10	5	92

②プラン支援地域ケア会議(計 6 回: 11 件)

日時	件数	日時	件数
5 月	1	7 月	2
9 月	2	11 月	2
1 月	2	3 月	2

※半年前検討事例のモニタリングを別途 13 件実施。

③自立支援地域ケア会議モニタリング(計 5回: 10 件)

日時	件数	日時	件数
4月	2	5月	1
6月	2	7月	3
8月	2		

※令和6年度実施分に対する6か月後モニタリング。8月をもって終了。

④地域包括支援ネットワークケア推進会議(計 20 回)

圏域	回数	内容
国分北	2	①皆さんの地域の魅力について ②できるだけ住み慣れた地域で過ごしたい～ケアマネージャーとの連携～
国分	2	①『城山地区ってどんなところ？こんなところ？！』について語りましょう ②“国分地区の魅力について語ろう”
国分南	2	①民間救急 smart 宮菌氏による「健康講話～体調管理・転倒予防」 ②緊急通報装置サスケについて説明 見守りあいアプリについてと実際にアプリを発信した模擬訓練
溝辺	2	①8 月大雨災害時のそれぞれの事業所の対応や困りごとについて圏域内での共有 ②有事が生じた際の圏域内の連携、体制作り
横川	3	①事例検討:「身寄りがなく、生活環境や体力面に課題を抱える独居高齢者への関わりについて」 ②ケース検討:「家族間トラブルを抱えた認知機能低下している高齢者の現状共有および今後の支援方針検討」 ③社会福祉協議会による講話「災害ボランティアについて」
牧園	2	①牧園の地域の特徴や地域資源、課題について、ネットワーク推進会議の準備に向けて、会議の趣旨説明とこれまでの経過 ②『孤独死』をテーマに各機関の役割や問題意識も含めて出席者自己紹介
霧島	2	①安心安全課による講話「災害について」 ②「霧島地区の強み・自慢」「日頃の困りごと」「地域や暮らしの課題」「解決に向けて」
隼人北	1	集いの場・居場所・ひきこもり支援等についての情報交換
隼人南	1	認知症徘徊防止 GPS 機能付き機器について
福山	3	①ケース検討:妄想からくる他害がある方の今後の支援について ②霧島市地域防災推進員の取り組みについて・非常食体験・被災状況報告 ③救急車の不適切利用について

⑤スキルアップ研修(再掲)

開催日	内容	会場	参加者
5月2日	「まち歩き」と「支え合いマップ」でつくるケアプランづくり ～利用者の「らしさ」を支える～ ケアタウン総合研究所 (株)けあけあ 高室 成幸氏	国分公民館 大研修室・大会議室	82名
12月9日	子どもたちとのかかわりで見えてきたこと ～学校に行きづらい子どもたちの支援を通して～ 通所支援事業所 まっぶ 学校に行きづらい子どもたちへの支援担当 徳石 誠氏	国分公民館 大研修室・大会議室	73名

3 任意事業

(1)家族介護者支援事業

開催日	内容	講師	会場	参加者数
6月26日	交流会	なし	国分総合福祉センター 教養娛樂室	5名
9月4日	交流会	なし		5名
12月5日	交流会	なし		6名
3月26日	交流会 講話「栄養について」	まちの栄養ステーションカドル 吉永悦子氏		5名

4 一般介護予防事業

(1)きりしま元気一番講座(計 25回: 332名)

- ・フレイル予防: 8回 87名
- ・認知症について: 15回 204名
- ・私のアルバムについて: 2回 41名

5. その他

(1)霧島市出前講座等: 2回 59名

令和8年度 霧島市地域包括支援センター事業計画

I. 事業目的

霧島市地域包括支援センターは 霧島市すこやか支えあいプラン2024(第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画)の基本理念である「誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり」を実現するため、介護予防、在宅医療・介護連携、認知症施策の推進を図り、地域住民を中心とした地域包括ケアシステムを構築することを目的に各事業を実施する。

II. 事業実施方針

霧島市地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を維持できるよう公平・中立な機関として、各日常生活圏域の地域性を考慮し、高齢者やその家族等の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

III. 重点目標

目標 1 専門職のチームアプローチによる総合相談支援の実施

総合相談の課題解決のため、3職種が専門性を活用しながら連携し、行政や関係する医療・福祉の専門機関・職種と連携を図り、困難事例や地域課題に対応する。

目標 2 地域ケア会議を積極的に活用した高齢者等への支援の実施

プラン支援地域ケア会議、地域包括支援ネットワークケア推進会議、個別ケア会議を積極的に活用し、①個別課題解決、②地域包括支援ネットワーク構築、③地域課題の発見、④地域づくり・資源開発を図り、高齢者の支援および霧島市の政策の形成を図る。

目標 3 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施を重視し、通いの場の運営等について、行政、社会福祉協議会等の関係者と十分な連携を図り、介護予防・日常生活支援総合事業を実施することで、市民のフレイル予防及び重症化予防を図る。

IV. 事業内容

1 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

(2) 権利擁護業務

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

2 指定介護予防支援業務

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業の一部および連携

(2) 生活支援体制整備事業との連携

(3) 認知症総合支援事業

(4) 地域ケア会議推進事業

4 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(2) 一般介護予防事業

5 任意事業

(1) 家族介護者支援事業

V. 事業計画

1 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

- ①パンフレット、電子媒体等を使用し、開所日時および閉所時の相談体制について周知を図る。
- ②センターのブランチである「霧島市まちかど介護相談所」及び「霧島市まちかど丸ごと相談所」と連携し、地域の実態把握に努める。
- ③民生委員児童委員協議会の定例会、地域見守り支援員（通称：見守り隊）会合等に参加し、センターの周知を図り、地域との連携体制構築を進める。
- ④地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報を整理する。
- ⑤相談内容及びその対応について相談内容別に分類し、地域包括支援センターシステムに遅滞なく記録する。
- ⑥介護離職防止の観点から、家族介護者への相談に対応し、その件数・内容を記録する。
- ⑦重層的支援体制整備事業を正しく理解し連携を図ることで、重層的支援が必要なケースの課題解決を目指す。

(2) 権利擁護業務

- ①総合相談支援業務上、特に権利擁護の観点から支援が必要と判断したケースについて、専門的な相談窓口への適切な紹介や連携、ケア会議開催等の支援を必要に応じて行う。
- ②パンフレット、電子媒体等を活用し、市民および関係機関に対し、高齢者の権利擁護のための広報や研修会を実施する。
- ③高齢者虐待を未然に防ぐため、家庭内における権利意識の啓発、認知症等に対する正しい理解や介護知識の周知、介護保険制度等利用促進などによる養護者の負担軽減を図る。
- ④高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例を把握した場合、速やかに市に報告を行い、市と協議し対応する。
- ⑤高齢者虐待対応において、必要時には公益社団法人鹿児島県社会福祉士会の実施する鹿児島県高齢者・障害者虐待防止対応事務の専門職チーム（弁護士・社会福祉士）の助言等を受け、問題解決に取り組む。
- ⑥成年後見制度の利用促進にあたって、霧島市成年後見センターと定期的に会議を設定する。
- ⑦成年後見の市長申し立てに対し、行政と連携を図りながら適切な支援を行う。
- ⑧成年後見制度の本人・親族申し立てに対し、家庭裁判所および弁護士・司法書士等との連携を図る。
- ⑨消費者被害に関する相談については、速やかに市の消費生活相談窓口または警察に報告する。
- ⑩「身寄り」がなくても安心して暮らせる霧島市を目指し、ガイドラインやパンフレットを活用した理解普及や、支援調整を図る。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ①担当圏域内の主任介護支援専門員、介護支援専門員等との連携を図り、情報の交換及び共有を行い、霧島市特定事業所連絡会「みやま会」、霧島市ケアマネ会「あしたば」、霧島市独立居宅介護支援事業所連絡会

「あすなろ会」の事務局運営を通して、連携と資質向上を図る。

②介護支援専門員の資質向上を図るため、研修会・事例検討会等を開催する。

③介護支援専門員のニーズに基づいて、医療機関や地域における様々な社会資源など多様な関係機関・関係者と意見交換の場を設ける。

④介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催する。

⑤地域の介護支援専門員等が、日常的に円滑な業務が実施されるよう、介護支援専門員のネットワーク構築を支援する。

⑥各日常生活圏域の関係者のネットワーク構築のため、地域密着型サービス事業所の運営推進会議への参画等のほか、各事業者団体(老人福祉施設協議会、地域密着型サービス事業者連合会等)との意見交換等の機会を設ける等、地域の関係者との連携を図る。

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

①自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの手法等について、マニュアルを活用し、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知する。

②介護予防ケアマネジメント・介護予防支援において、生活支援体制整備事業で集約された保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源の発掘とその活用を促進する。

③地域リハビリテーション活動支援事業や保険者が実施する給付適正化事業(プラン点検)等の各種事業ならびに、インフォーマルサービスに位置づけられる地域のひろば推進事業、介護保険ボランティアポイント事業、地域見守り支援事業、フレイル予防推進事業、運動体操サロン等の活用を推進し、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの資質向上を図る。

2 指定介護予防支援業務

①自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの手法等について、マニュアルを活用し、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知する。【再掲】

②介護予防ケアマネジメント・介護予防支援において、生活支援体制整備事業で集約された保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源の活用を促進する。【再掲】

③地域リハビリテーション活動支援事業や保険者が実施する給付適正化事業(プラン点検)等の各種事業ならびに、インフォーマルサービスに位置づけられる地域のひろば推進事業、介護保険ボランティアポイント事業、地域見守り支援事業、フレイル予防推進事業、運動体操サロン等の活用を推進し、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの資質向上を図る。 【再掲】

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業の一部および連携

①始良地区エリア会議や企画運営委員会に参加し、機関・団体の具体的連携推進に努める。

②医療関係者との合同の事例検討会・講演会・勉強会等に参加し、具体的連携推進に努める。

③在宅医療・介護連携推進事業の窓口として、入退院支援コーディネーターを配置し、関係機関に周知する。

(2) 生活支援体制整備事業との連携

①生活支援コーディネーターと連携し、日常生活圏域ごとの高齢者のニーズや社会資源に関する情報を共有し、地域課題の抽出に努める。

(3) 認知症総合支援事業

- ①認知症初期集中支援チームは、事業の普及啓発をはじめ、認知症地域支援推進員及び包括的支援事業担当者と情報を共有し、ケースの受け渡し等、特に総合相談との連携について具体的にルールを定める。
- ②認知症早期発見促進事業(もの忘れ外来)を活用し、円滑な初期対応に努める。
- ③高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施を元に、抽出された対象者に対しもの忘れ外来事業を活用し、その必要性に応じ円滑な初期対応に努める。
- ④地域住民や関係機関等が、認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制を構築するために、認知症に対する正しい知識の普及等を行う。
- ⑤認知症の本人及び家族支援のため、日常生活圏域ごとに認知症カフェの普及を図る。認知症カフェ連絡会を開催し、連携及び、新規開設の支援、認知症カフェを起点とした認知症高齢者の見守り体制、チームオレンジ等の仕組みづくりの検討を行う。
- ⑥認知症サポーターキャラバン・メイトの理解と協力を得ながら、認知症サポーター養成事業を活用し、認知症に対する正しい知識の普及啓発に努める。また、キャラバン・メイト連絡会を開催し、認知症サポーター養成講座の充実を図るとともに、認知症サポーターが活躍するチームオレンジ等の仕組みづくりの検討を行う。
- ⑦認知症ケアパスや「私のアルバム」の普及を図る。
- ⑧認知症ケアパスや私のアルバムについて、検証・検討し、適宜見直しを行う。
- ⑨若年性認知症の人への相談支援を図る。
- ⑩みまもりあいアプリの普及啓発・模擬訓練の企画運営など地域の高齢者の見守り体制の構築を支援する。

(4) 地域ケア会議推進事業

- ①介護支援専門員等の要望に基づき、日常生活圏域ごとに地域ケア個別会議が随時開催できるように体制を整える。
- ②プラン支援地域ケア会議を開催し、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる。
- ③地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを必要に応じて活用し実施する。
- ④日常生活圏域ごとに、地域包括支援ネットワーク推進会議を年数回開催し、地域関係者や医療・介護等の代表者等によるネットワークの構築及び地域課題の解決策の検討等、地域づくりを推進する。
- ⑤地域ケア会議の議事録や決定事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じるよう努める。

4 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

- ①霧島市長寿介護課と協働し、介護予防及び日常生活支援を目的とし、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、訪問型・通所型・生活支援サービスが提供されるよう整備を進めるとともに、包括的かつ効果的に実施されるよう必要な生活予防支援事業を行う。

(2) 一般介護予防事業

- ①霧島市長寿介護課と協働し、地域住民の通いの場で介護予防の運動等(きりしま元気一番講座)を実施し、介護予防普及啓発を図る。
- ②霧島市長寿介護課が実施する地域リハビリテーション活動支援事業(リハビリテーション専門職の専門的知見を基に通所事業所等や対象者宅に派遣し、運動面のフレイル予防のための助言・指導を行う)を活用し、介

護予防の知識の普及啓発を図る。

- ③霧島市長寿介護課が日常生活圏域ごとに設置している運動体操サロンを活用し、通所型サービス C 及び通所介護等を終了した方が継続して体操や運動に取り組めるよう努める。
- ④高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施、非該当把握、要介護認定を受けているがサービスの利用がない方等に、その必要性に応じて訪問し実態を把握する。

5 任意事業

(1) 家族介護者支援事業

- ①地域ネットワークを活用し、家族介護者のピアカウンセリングの機会として、家族介護者交流会「このゆびとまれ」を実施する。